

2022年度 教育カウンセリング・オンライン研修講座 参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

2022年11月12日（土）

午前の講座（9：30～12：30）

「インターネット依存・ゲーム障害の理解と対応」

講師：三原 聡子先生

（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 主任心理療法士）

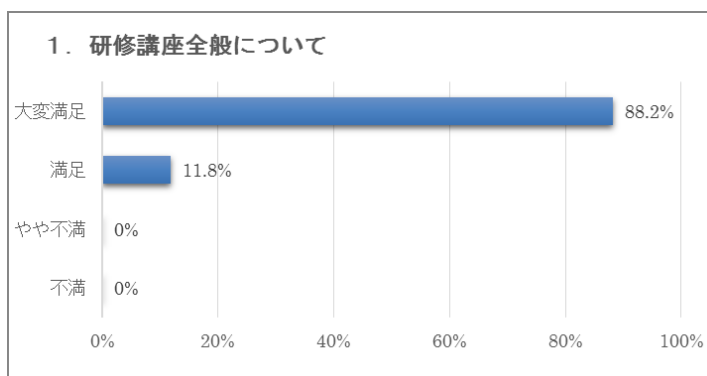
午後の講座（13：30～16：30）

「学校における児童生徒の『性の多様性』への対応」

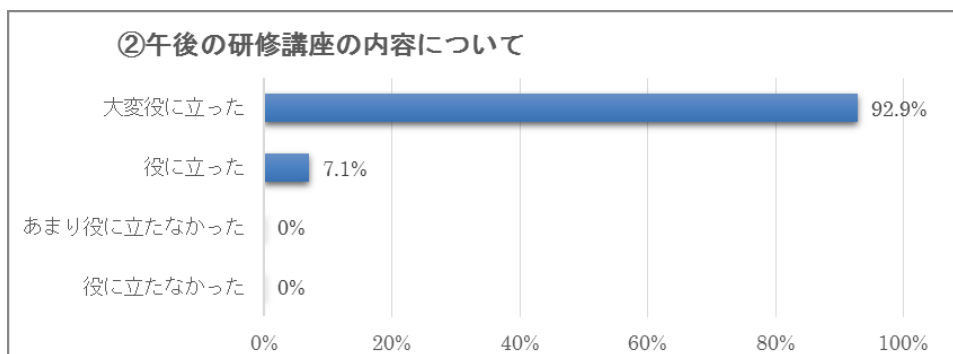
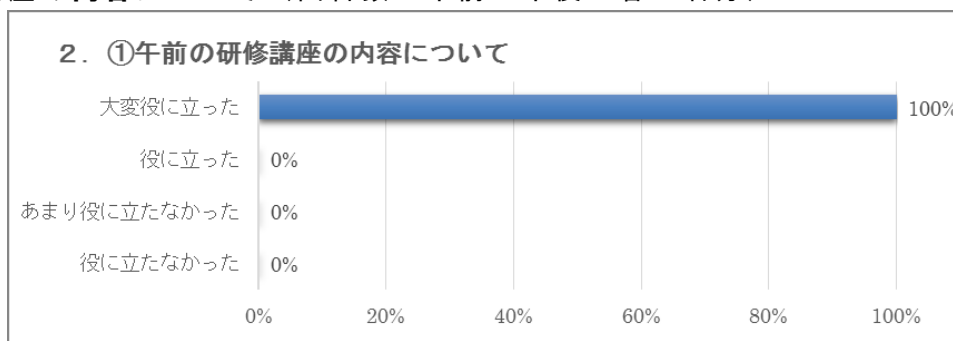
講師：佐々木 掌子先生

（明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻 准教授）

① 研修講座全般について（回答数17名分）



② 講座の内容について（回答数 午前・午後 各14名分）



③ 講座の内容についての感想

【講座全体を通して】

- 📖 実際に困っているゲーム依存やナイーブな問題をはらんだ性的マイノリティの内容など、なかなか研修でも十分お話が聞けないことについて、講師の方々が丁寧に話してくださり、本当にありがたかったです。時間があっという間でした。
- 📖 今、社会で注目されている問題に深く携わられているステキな二人の先生のお話を伺うことができ充実の一日でした。
- 📖 午前のネット依存に対する支援、午後の性の多様性への対応等、今後の生徒や保護者への対応の方向性がはっきりする内容でした。診断やマニュアルに基づいた通り一遍の対応ではなく個に応じた対応の大切さについても考えさせる内容でした。
- 📖 ゲーム依存の考え方と具体的な支援の方法、また、LGBTについての考え方と教育現場での具体的な対応について知ることができ、大変有意義でした。いずれも、教員、児童生徒全体を対象として学校全体で学び、取り組んでいくべき課題であると感じました。明日からの実践に生かしたいと思います。
- 📖 グループワークがあったので、双方向の研修が出来ました。
- 📖 午前、午後とも、グループで考えや感情を共有し、その後、参加者全員で共有することができ、さらに講師の先生から丁寧なコメント、フィードバックがあり、大変充実した学びとなりました。ありがとうございました。
- 📖 前半・後半を通して、とても学びのある時間となりました。ありがとうございました。
- 📖 午前も午後も、大変学びの多い研修となりました。本当にありがとうございました。
- 📖 時代のニーズに合った研修講座であり、自分の中でモヤモヤしていたことが解決する機会となりました。

【午前の講座「インターネット依存・ゲーム障害の理解と対応」】

- 📖 医療面・具体的な研究成果等を基に、多角な視点で解説していただいたことと、具体的な事例でのグループ検討で得られた視点や三原先生からのコメントをいただいたのが良かったです。
- 📖 ゲームに没頭している姿を見ると、コミュニケーションをはかれない子にとらわれがちですが、背景には誰かとつながりたいとか認めてもらいたいという気持ちもその姿にはある、といったことを三原先生のお話やチームで事例検討しあった中で改めて確認できました。「何とかやめさせたい」といった保護者側の思いにだけ偏らぬよう、支援者としてかかわる大切さや、様々な視点や関係機関との連携の大切さ、何より【ネズミの楽園】でわかったように「孤独にしない大切さ」を大事にしたいと感じました。
- 📖 午前のゲーム依存の研修について、最近の生徒の実態に合った内容で、どのように当該生徒や保護者に対応するか、とても参考になり、今後に役立てていきたいと思いました。脳の機能面、ADHDや愛着障害、グレーゾーン傾向の生徒の傾向や、依存への未然予防策、保護者が子供への対応方法、医療機関へのつなぎ方、事例検討など、たくさん学ぶことができました。
- 📖 ゲーム依存となってしまうと、脳の神経細胞の死滅がおきてしまうなど、脳への異常もあるということで、気持ちの問題でどうにかなることではないと分かりました。ゲーム依存とならないためにどのように指導をしていくか、また、子どもたちにゲームと上手に付き合う方法を教えたり、一緒に考えたりすることがとても大切だと感じました。

- 📖 ここまでできているのかという実態が把握できておらず、衝撃的でした。様々なキーワード、観点をいただけたので、それを元に今後も問い続けていきたいと思いました。
- 📖 午前中の研修は、必要感に迫られて申し込みました。特に低学年への対応は、ゲーム以外の現実活動に焦点をおくとよいということを早速共有して対応していきたいと思います。
- 📖 多角的な側面から捉える、具体的な資料が得られた。また、事例検討のグループワークでの学びも多々ありました。
- 📖 事例検討会がとても良かったです。オンライン研修会でも実際に声を掛け合い話し合うことで相手を身近に感じます。現実世界とまでいかないけれど、大切なことだと改めて思いました。検討の時間がもう少しあるとよかったです。
- 📖 自分の人生で真に価値のあるもの・こと、重要なもの・ことに心を向けられるように、ほどよく依存できるように、生きづらさに寄り添えるように、今後とも手厚い支援をしていきたいと思いました。
三原先生のご講義や雰囲気から日常の患者さんとのかかわり方や向き合い方も伝わってきました。ありがとうございました。
- 📖 ゲームをしたことがないのでどのような実態なのか初めて詳しく伺い、闇のように広く深いことに驚きました。こんなにはめるしくみが発達している…。
自分自身 Netflix にはまり、依存度をチェックをすると黄色信号。やっぱり…。夜中ドーパミンがバシャバシャ、〇〇で頭がいっぱいで日中眠く、ああこのままでは廃人になる…と本当に思いました。このごろは熱中する番組がないのでまあまあ普通のくらしなのですが、見事なまで三原先生には言い当てていただきました。抑制要因を増やす、重くするなどできそうだなと思いました。ありがとうございました。

【午後の講座「学校における児童生徒の『性の多様性』への対応」】

- 📖 関心は持っていましたが、バラバラだった情報がやっと整理された気がします。小学生、中高生段階と大人でも対応が違うし、アイデンティティがゆらいだり統合されたりしていく課題の一つで、見た目や趣味性格でコンプレックス持ったりするのとそこまで違わないことだったと腑に落ちました。周りの理解によって生きやすくも生きづらくもなるということ。特定の生徒に配慮することが重要なのではなく、みんな違っててそのままでいいという雰囲気があれば、多数派に含まれる生徒にとっても居心地のいい学校やクラスになるはずだということを改めて感じます。
- 📖 性の多様性という言葉は知っているつもりが、全然わかっていなかった自分がいました。こんなにも一人一人違うということがわかり、環境を如何にしていくか考えさせられました。
- 📖 午後の研修に参加させていただきました。性の悩みはセンシティブな話題ですが、そういった話題も受け止めてもらえるかも、と思える関係性づくりが重要だと感じました。何気なく言うってしまう言動や仕草も、一呼吸おいて考えることが必要だと感じました。
- 📖 午後の研修は、役に立ちそうだという軽い気持ちで申し込みましたが、目から鱗でした。あちこちでよく耳にするようになった言葉を知っているつもりになっていましたが、不十分で思い込みの知識だったことが分かりました。柔軟な子どもたちの価値観を、違うことを当たり前ととらえ、多様性を認めるものに導いていけるよう、日々の学校生活で考えていきたいと思います。
- 📖 教職員が学校風土を作る、これはまさにその通りだと思いました。しかし、学校現場から男女2分法は、なかなかなくなるのではと感じています。問題意識を持っている先生がいても、やりやすいからという理由や今までの指導経験上で2分法を行ってしまう現状があると感じています。また、私自身のことになりますが、2分法に違和感

を感じていても、それが少なくなるための発信方法が分からず、モヤモヤを抱えたままです。当事者がいれば学校も動くと思いますが、そうでないときは先生方の問題意識の感じ方もバラバラだと思うため、なかなか難しいなと思っています。「医療はそのあと」もまさにその通りだと思いました。学校現場として、例えば異性の制服を着たいと言っている子どもに対して、診断書があればそれに基づいて対応できる、それがなければ、それはその子の我儘として周りからみられ兼ねないと懸念して、対応できなかったところがあります。また、親と子で話し合ったうえで、親からの同意がなければいけない、というのも小中学校では難しいところだと感じています。親へ気持ちを伝えてまで制服を変えたいという気持ちになれない子もあり、思春期の性が揺れ動く時期に、いったん決めなければいけず、もし制服をもとに戻すとなれば、また時間がかかります。生徒指導などいろいろな問題が絡み合い、難しいなと感じました。

しかし、まずはセクシュアルマイノリティがある、ないに関わらず、子ども一人ひとりのアイデンティティを尊重して支援していくことが大切だと思いました。

📖 午後の研修では、この 12 月に新採用 2 年目の教諭担当の生徒会主催で、スクールロイヤーも招いた中で、他人の個性を尊重せよという当校の人権宣言 1 条を考える全校集会で、LGBTQ について話し合いをもつことになっており、大変参考になりました。

およそ 20 年前、不純異性交遊など含め大変荒れた学校に勤務しました。男子用制服を着た女性生徒が、修学旅行で同性生徒と性行為を行ったことなどの対応にも、学校として対応しきれなかった感があったことを含め、難しい問題ととらえてきました。しかし、今回の佐々木先生の研修で、多様性を見事に寛容に受け止めることは、命を受け止めること、未来を切り開くエネルギーと感じました。今後、役立てていき、自分自身も成長したいと考えました。大変ありがとうございました。

📖 勤務校は男女混合の名簿、集会の整列も男女混合、制服も男子女子ではなく、スラックス仕様、スカート仕様と男女を区別するようなことはなるべく避けるような環境づくりに努めていますが。本校は郷土芸能伝承活動として秋田竿燈まつりの練習・参加を行っておりますが、女子は竿燈の竿に手を触れてはならず、竿燈に触れるのは男子に限られています。女子は笛や太鼓の囃子手になることと決められており、文化の伝承と性の多様性への対応の両立が難しいと感じています。

📖 性の多様性への対応について、正しい目で見て（決めつけない）、必要に応じて直接的な支援を行い、環境を整えていくこと（受容的な雰囲気のある学校・学級づくり）が重要であることを改めて感じました。それは、他の配慮の必要な子どもたちへの支援にも役立つ学びであると思いました。

📖 佐々木先生、声なし、顔なし、おまけに鈍い私に最後まであきらめずずっと話しかけてくださってありがとうございました。寄り添っていただきうれしかったです。

性の多様性について、これまで多くの情報はテレビでした。文章では分かりにくいことも見れば分かる。カミングアウトした人の生活を見たり生の声を聴いたりする程度の狭さでした。でも今日、奥が深く、デリケートで複雑なものと分かりました。安直では失礼極まりないと認識が変わりました。ありがとうございました。

④ オンライン開催に関するご意見やご要望について

📖 現場で抱えるこまっている課題について、専門的な立場でのお話、特にどう支援していくかについてのご示唆をいただけたのがありがたかったです。

📖 いつもながら事前の準備と丁寧なご対応に感謝しています。事務局スタッフの皆様、ありがとうございます。秋田は私にとって家族のいる大切な場所です。まだ自由に行けませんが、これからも秋田支部から目が離せません。

📖 他県の方も気軽に参加してもらえるのは、オンラインの良さだと感じました。

📖 メールで丁寧に連絡いただき大変助かりました。

秋田県教育カウンセラー協会の方々を取り上げる内容や講師の選定などがすばらしく、質の高い講座を提供してくださっていて感謝申し上げます。早めのお知らせや、こまめな対応なども大変助かります。事務局の方々にもお礼申し上げます。

大変ありがとうございました。他県からも参加しやすいので助かりました。今後ともよろしくお願いいたします。

前半のグループディスカッションでは、司会の方が決められておりとても助かりました。後半でも司会の方を決めていただくか、運営側の方が一人でもいらっしゃると助かりました。何人グループなのか、どなたがいるのか分からなかったこともあり、グループディスカッションがなかなか始まらず、あまり進みませんでした。

グループワークを実施するとすれば、協会内で進行をするなどある程度の役割分担があると良かったかもしれません。今回は自然と協会の方が自発的にやってくれていてよかったと思いました。

日頃悩む課題に対して、学ぶ機会をいただきありがとうございました。
午前みの参加です。1日参加が難しい私には、午前・午後を選べるのも参加しやすく感謝です。
スタッフの皆様、ありがとうございました。

準備や当日の運営、ありがとうございました。

いつも運営ありがとうございます。

研修参加費がもう少し安いとよいです。

今後も継続してほしいです。

◆今後受講したい講座のテーマや講師について

リストカット・自殺念慮を抱える生徒をどう理解し、どう関わっていくかをもっと知りたいです。

ネットと幼児・小学生の発達の関係についてもっと学びたいです。愛着障害の研修会も楽しみにしています。

愛着（昨年度も受講）とゲーム依存は、またお聞きしたいです。学校、家族などそれぞれできることをさらに具体的にお聞きできればありがたいです。

援助希求を阻害する要因とその克服に関するテーマ（虐待・いじめ・特別支援等）

学校現場で活かせる実践事例の講演やオンラインで出来る実技研修があるとよいです。

不登校支援について再度研修できると良いなと思いました。

資格取得につながるような研修講座もあるとよいと思いました。

—— アンケートにご協力をいただきましてありがとうございました。

